

第7回多可町子ども・子育て会議 記録

日時	平成27年5月19日（火） 15:00～17:00
場所	多可町中央公民館中会議室
参加者	<p>●委員 出席：鈴木会長、木俣副会長、荻野委員、市位委員、藤原委員、橋本委員、高橋委員、清水谷委員、岡原委員、上野委員、多方委員、萬浪委員、藤田委員、笹倉委員、岡本委員 欠席：高見委員</p> <p>●事務局 岸原教育長、こども未来課 今中課長、足立</p>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 自己紹介 5. 正副会長の選出 6. 報告事項・協議事項 <ol style="list-style-type: none"> 1) 町内保育施設・幼稚園在籍数 就学前年齢別人口（小学校区別） 2) 「子ども・子育て支援新制度」に移行して こども園、ちびっこランドらくえん報告 放課後児童クラブの状況 3) 平成27年度の取り組みと検討課題について 園訪問 幼稚園教育研修事業、5歳児交流会 保育料の見直し 通園バスの検討 病児保育事業 両キッズランドの民営化 育児休業取得中の継続利用について 7. その他 8. 閉会
資料	・第7回多可町子ども・子育て会議資料

1. 開会

2. 委嘱状交付

代表して鈴木正敏委員へ委嘱状を交付。

3. 教育長あいさつ

4. 自己紹介

5. 正副会長の選出

事務局提案により、会長に鈴木正敏氏、副会長に木俣美代子氏を選出

6. 報告・協議事項 事務局から説明

1) 町内保育施設・幼稚園在籍数／就学前年齢別人口（小学校別）

出生数や5歳児以下の人口減少について。

2) 「子ども・子育て支援新制度」に移行して

・各認定こども園長、ちびっこランドらくえん施設長から報告（要旨）

みどりこども園・・・園舎も新しくなり、在園児にも不安があったが、ようやく落ち着いてきた。幼稚園部の子は午後1時30分に帰るので、一部の子どもは不安な気持ちもあり配慮が必要と思う。

5歳児が増えたことで、小学校就学前における教育保育を行うことに責任を感じている。小学校への研修等、今後も子どもたちのために努力していきたい。

あさかこども園・・・総勢127名で多くなった感じを受ける。100名までがよいのかなとも思う。

5歳児の活動については、これまでも山登りなど試しに行ってきたが、4歳と5歳の違いは大きい。

責任が大きくなったと感じている。

四恩こども園・・・こぢんまりとした園であるため、子どもたちの顔や表情がわかる。

5歳児保育について、年長としての自覚を持ち、人の話を聞ける子を育て、小学校への繋ぎがスムーズに行えるようにしたい。順調にスタートした。

ちびっこランドらくえん・・・事業所内保育から今年度、小規模保育事業A型で定員は6～19人。保育士を2名から1名増やし、現在は8名の子を預かっている。家庭的な環境づくりを心がけている。

・放課後児童クラブ（小学校4～6年生まで拡大）の状況

利用条件として、ひとり親世帯で保護者の帰宅時間が遅くなる場合。その他、児童に障害がある場合など、放課後家庭での保育ができないという理由に限り、今年度から

4年生から6年生も受け入れをしている。

年間利用・・・4年生2人／長期休業期間・・・4年生5人の申込みあり。クラブによっては非常に児童数も多く、定員の範囲内で今後も優先順位を審査会において十分に検討した上で受け入れをしていきたい。

【会長】放課後児童クラブについては、これまで小学校1年生から3年生が対象だったが、「子ども・子育て支援新制度」では幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援のために消費税アップの増収分から財源が充てられることになっている。その使い途や支援の仕方を考える。

3) 平成27年度の取り組みと検討課題について

・園訪問について、昨年までは秋に1回だったが、今年度からは春と秋の2回、施設保育・教育現場の見学と、職員の方との懇談で1園あたり2時間ほどを予定している。

春季園訪問

4/30 (木) キッズランドやちよ

5/13 (水) キッズランドかみ

6/3 (水) ちびっこランドらくえん

6/4 (木) あさかこども園

6/10 (水) 四恩こども園

6/30 (火) みどりこども園

・幼稚園教育研修事業、5歳児交流

幼稚園教育研修事業については、昨年度から実施している。今年度は特に小学校への接続が円滑に行われるようにするため、小学校体験研修を取り入れている。公立幼稚園へは6月8日～19日に、加西市北条東こども園へ研修の予定。

また、中町幼稚園跡を活用して行う5歳児交流会の年間計画(案)、第1回目の計画(案)を資料として添付。

【会長】幼稚園教育研修事業の成果について、各こども園さんどうでしょうか。

あさかこども園・・・公立、私立とも研修に行ったが、それぞれ特徴があった。保育内容について活かせる部分もあり、また難しい部分もあったと思う。いろいろな保育を知り、自分たちの園の保育を振り返ることもできたので有意義だった。

みどりこども園・・・成果としてはそれぞれの園の時間の使い方、生活の時間配分が勉強になった。就学に向けての取り組みについては、自由にのびのびと有効な経験を通して自分の思いを伝えるといったことを取り入れたい。

四恩こども園・・・数年前までは、資質の向上を目的に、保育協会合同で阪神方面の施設見学に行っていた。そうしたことがなくなっていたので、このような機会を喜んでいて、井の中の蛙にならないように勉強し、また振り返ることは大切なことである。小学校への繋ぎをしっかりとしたい。

【会長】 顔見知りになった子どもと小学校に行けるのはいいこと。

・保育料の見直し

来年度の保育料については、北播他市の状況も勘案しながら国基準保育料の68%～70%をめどに今後検討を進めていきたい。

また、多可町では標準時間と短時間保育の料金の差をつけていないことが課題である。保育短時間認定の場合、保育時間は8:30～16:30の8時間、標準時間認定の場合7:30～18:30の11時間。

多可町では約2割だが、短時間の利用者負担について、標準時間認定を受けた子どもの負担額の約98.3%を基本に設定するか、一律減額するか、こちらも次回には提案したい。

【委員】 幼稚園で、13時30分以降も利用の場合は一時預かりで利用金額をお支払いいただくが、短時間保育で16時30分以降18時まで利用の場合でも、標準時間と保育料がかわらないため延長保育料をいただけていない。

差をつけるべきで、他市では1,000円違うところもある。

幼稚園保育料は現在3歳児6,000円、4・5歳児4,000円だが、応能負担にすることについてはどうか。

【委員】 幼稚園部の早朝保育料についても検討をお願いしたい。

・通園バス

現在3区3台運行しているが、委託料やリース料等で年間約4,500万円経費がかかっており、保護者から納めていただいているバス代は480万円程度。

3年間の委託契約が今年度末で切れるにあたり、利用状況をみながらではある、3台から2台に減らす検討をしていく。

加美区の通園バス鳥羽－豊部間、大袋－熊野部間が乗車時間約45分と最も長く、利用率も高い。また初乗は7時51分が一番早い乗車時間である。土曜日の利用はいずれも一桁と少ない。

八千代区については、現在の1号車片瀬～本村～仕出原ルートと2号車大屋～中村～赤坂～三室と3号車上三原～下三原～八千代地域局前で分けたルートを考えている。中区も資料のとおり、現在運行をお世話になっている業者から2台での提案をいただいた。

ただ、加美区については地理的なこともあり困難であるとする。今以上長く乗車させることは子どもたちに負担をかけることになり、いったんキッズかみに下ろして…といういまの案だと乗車時刻が1時間早くなる場所もでてくる。

通園バス利用料の状況は、多可町では月額片道1,000円・往復2,000円だが、西脇市では1回200円とか月額往復3,000円～3,500円で、他市の状況は資料のとおり。

【委員】土曜日は家で過ごすことを基本としているので、保育形態も変えている。加美区の3台については、以前に統合の条件にもなっていたと思うのでここにきて2台にすることはまだ難しいのでは。

八千代区については、小学校の統合によるバス利用といっしょに考えられないか。

【事務局】八千代小学校への登下校は、路線バスを増便して利用することになっている。

・病児保育事業の検討・両キッズランド民営化の本格検討開始について資料説明。

【会長】「ちくさこども園」については、小学校のすぐそばに9月に竣工予定で、それまで4月から8月までは千種杉の子保育園舎と千種幼稚園舎に分園して保育を行っている状態。環境を整えて他からも受け入れていく。将来の子育て環境、その地域にとってよい方法を考えることが大切。

4町が合併して宍粟市となっているが、もともと千種町は地産地消の給食を提供していたような地域で、今回のこども園についても建物や運営、制服のことなど検討する会には校長や地区役員のほか、保護者が委員として多く加わっていた。公立と民間の職員交流・研修も行っている。

【委員】病児保育の近隣の状況はどうか。

【事務局】西脇こども園平成25年度120名で26年度は170～180名。本町では「おひさまにこにこクリニック」による診療所型病児保育事業実施を検討していく。

【委員】両キッズランドの正規職員の比率はどうなっているのか。

【事務局】年齢33歳から54歳まで15人在職、昨年10月時点で全体の29.8%だった。北播他市と比べて賃金に大きな差はないが、正規率は非常に低い。

【委員】嘱託保育士の給与に対する不満は聞いたことがある。全国的に保育士の数は足りない状況であり、民営化するまでの間も確保しておく必要はある。募集時期

を早めるなど対策を考えなければならないと思う。

【事務局】賃金アップもなく1年目も10年目も同じ。このままでは保育士不足で待機児童が出かねない。子どもの数が減ることはわかっているが予測が難しい。

【委員】民営化ありきではなく、いろいろな検討をしてほしい。

【会長】合併特例債が平成33年期限を迎える。2園を維持していくのにどのような形があるか、どこまでもつか、1園ずつならどちらからか、今後検討していく。

【委員】逃れられない課題であり、直視しなければならない。十分話し合い、できるだけ納得を得たうえで進めていきたいと思う。

・ 育児休業取得期間中の保育について

保護者が育児休業取得期間中は、原則として入所できない。妊娠出産の理由では（4か月の間）は入所可能。現状では、育児休業取得中でも年度末までは引き続き受け入れているが、新年度からは受け入れしていない。希望があれば生まれた児が1歳になるまで延長する。（案）を考えている。

【会長】子どものことを考えると、年度の途中だと行事の関係もあるので、1歳を迎える3月末までがいいのではないかなと思うが。次回は期間をシミュレーションした資料があればわかりやすい。

・ 全体を通して

【委員】盛りだくさんの資料なので、できれば事前に目を通しておけるようにしてほしい。

【委員】知らないことが多かった。次回までに意見をまとめておきたい。

【委員】通園バスのことなど、他の保護者の意見をいろいろきいて次回報告したい。

【委員】地域の子育てを担うものとして勉強していきたい。

7. その他

次回第8回子ども・子育て会議は8月4日（火）午後3時から開催する。

閉会【副会長】

地域にとって、子どもたちにとって何がいいか、いっしょに考えていきたい。